診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科、虎の門病院腎センター内科、慶應義塾大学病院腎臓内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】
調査対象となる期間： 2007 年 1 月 1 日 ～ 2026 年 7 月 31 日の間に、虎の門病院本院または分院、慶應義塾大学病院で、維持透析として CAPD を受けたことがある 20 歳以上の ADPKD 患者さんです。

【研究課題名】
腹膜透析を受けている常染色体顕性多発性嚢胞腎（ADPKD）患者の肝腎容積の変化についての研究

【研究の目的・背景】
《目的》
腹膜透析(CAPD)を受けている ADPKD 患者の肝腎容積の変化について調べること

《研究に至る背景》
ADPKD は最多の遺伝性腎疾患であり、本邦の人工透析患者のうち、約 1 万人が ADPKD 患者です。多様性のある疾患ですが、一般的な経過では、60 歳までに多くの ADPKD 患者が末期腎不全に至るとされています。腎機能の低下とともに腎腫大が進行し、しかも腎不全の進行とともに加速度的に腎容積が増大することが知られています。

ADPKD 患者さんの腎容積、肝容積が、人工透析導入後にどうなるかは、よく分かっていませんでしたが、先日、私達は、人工透析導入前後の ADPKD 患者の肝腎容積の変化について報告しました。私達の研究では、血液透析(HD)導入後５年間は、腎容積はやや縮小し、肝容積はほぼ横ばいなりますが、腹膜透析(OAPD)導入後 5 年間は、腎容積も肝容積も増大し続けることが判明しました。しかし、CAPD を受けている ADPKD 患者の肝腎容積が、長期的にどのように変化するのか、HD への切り替え後や HD 併用を開始した後にどのように変化するかは分かっていません。CAPD から HD への変更後、あるいは HD 併用開始後の肝腎容積の変化を知ることは、腎代替療法を選択する上で重要であるばかりでなく、ADPKD 患者の肝腎容積に影響する因子を明らかにすることにも役立つと考えられます。

そこで私達は、CAPD を受けている ADPKD 患者さんの腎容積、肝容積が、長期的にど

のように変化するのか、HD 併用開始後、HD に切り替え後にどのように変化するのかについて、研究することにしました。

【研究期間】
2026 年 10 月 26 日　～　2029年3月 31 日

【個人情報の取り扱い】
お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。各共同研究機関の診療情報は、各研究機関で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、パスワードを付与し e-mail で虎の門病院分院 へ提供いたします。
学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。
また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院分院腎センター内科、保管責任者　諏訪部達也、おいて研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】
CT・MRI データ、血液検査データ、生理検査データ、診療記録、薬歴、看護記録

【研究代表者】
虎の門病院分院腎センター内科・諏訪部達也

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】
研究責任者：虎の門病院分院腎センター内科・諏訪部達也
研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】
研究責任者：虎の門病院腎センター内科・和田健彦
研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】
慶應義塾大学病院　腎臓内分泌代謝科　萩原あいか

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2027年３月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
虎の門病院分院　腎センター内科　諏訪部達也
〒213-8587　神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷１－３－１
電話　044-877-5111(代表)